

医歯学総合研究科(修士課程)に関するQ&A

Q1. 医歯学総合研究科(修士課程)では、どのような人を求めていますか？

- A1. ①高度医療職業人として医療、福祉、医療行政に従事することを旨とする人
 ②医学、歯学、医療に関する研究に熱心に取り組み、学ぶ意欲のある人
 ③異分野・異文化に関心を持ち、国際的なコミュニケーション能力のある人
 ④学士としての確かな基礎学力と専門分野における知識・技能を有する人
 ⑤主体的に学ぶ態度を身につけ、専門分野に関連する地域および国際社会の諸問題に関心を持つ人
 ⑥自ら課題を発見・探求・解決しようとする意欲に満ちた人 … を求めています。

Q2. 医歯学総合研究科(修士課程)へは、医学部や歯学部を卒業していなくても入れるのですか？

- A2. はい。文科系を含め、どの学部出身者でも受験できます。さらに、通常の出願資格以外に、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者や外国大学日本分校等の修了者など大学卒業資格を有していない方で入学する年の3月31日までに22歳に達する方も、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科で認められた場合は受験できます。
 (詳細は学生募集要項をご覧ください。下記問い合わせ先にお問い合わせ願います)

Q3. 過去に出題された入学試験問題を見ることはできますか？

- A3. 過去に出題された入学試験問題は、医歯学大学院系の窓口で閲覧することが可能です。なお、複写等による配布は行っておりません。

Q4. 英検やTOEIC等、英語能力試験の資格やスコアがある場合、入学試験で考慮してもらえますか？

- A4. 英検、TOEIC、IELTS、TOEFL iBTの等級・スコアが一定の基準を満たす場合は外国語試験の成績に対する加点を行います。

Q5. 学費はいくらかかりますか？

- A5. 受験から入学までに検定料30,000円、入学料282,000円が必要です。また、入学後は授業料535,800円(年額)が必要です。
 (令和4年度現在)

Q6. 会社に勤めているのですが…

- A6. 医歯学総合研究科(修士課程)に入学する学生の約半数は社会人の方です。授業は主に5限(16:20～)または6限(18:00～)に開講され、また、所属する研究室における研究については指導教員と相談の上、内容と時間を決定しますので、お仕事を続けながら学ぶことができます。

Q7. 奨学金等の経済的支援はありますか？

- A7. 多くの大学院生が「奨学金」と学内外の「アルバイト」の組み合わせで生計を立てています。代表的な奨学金として、日本学生支援機構が行っている第1種(無利子)や第2種(有利子)の奨学金があります。大学院生(社会人学生を除く)は「ティーチング・アシスタント」という学内の教育補助業務でアルバイト収入を得ています。その他、経済的理由により授業料の納付が著しく困難であると認められる者に対し、選考のうえ、授業料の全額または半額を免除する「授業料免除制度」もあります。

Q8. 高度医療専門職コースが認定を受けている文部科学省「職業実践力育成プログラム(BP)」と厚生労働省「教育訓練給付制度(専門実践教育訓練給付)」とは何ですか？

- A8. BPとは、社会人のスキルアップや学び直しを目的とした文部科学大臣認定の実践的・専門的プログラムです。専門実践教育訓練給付とは、概要として、対象者(雇用保険支給要件期間が10年以上の者)が認定プログラム(医科学専攻/高度医療専門職コース)を受講・修了した場合、受講者の申請によって入学料と授業料の50%を支給する制度です。



Q9. 何か資格等は取れるのですか？

- A9. ①毎年行われるヒトES細胞の取り扱いにかかる講習(年1回)に参加すると、ヒトES細胞の技術・倫理を習得した修了証明書が賦与されます。さらに修了者は認可されている学内の研究分野で、手続き後にヒトES細胞を用いた再生医療の研究を行うことも可能となります。
 ②短大卒の方が修士課程を修了すると、大卒資格を求められる県職員などの公務員への受験資格が得られます。
 ③栄養関連の教育・研究職への応募資格が得られます。(管理栄養士で、修士号の学位を持つ人は少ないのが現状です。)

【問い合わせ先】

〒890-8544 鹿児島市桜ヶ丘八丁目35番1号
 鹿児島大学医歯学総合研究科等学務課医歯学大学院係
 TEL / 099-275-5120 FAX / 099-275-5136
 E-MAIL isggdi@kuas.kagoshima-u.ac.jp



<https://www2.kufm.kagoshima-u.ac.jp/admission/examination.html>

医学と社会の 架け橋になろう!

今こそあなたの出番です

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科(修士課程) 医科学専攻 入学案内

入試情報

	一般選抜・社会人特別選抜	外国人留学生特別選抜
【選抜方法】	学力検査(外国語：英語)、小論文	学力検査(外国語：英語)、面接
【入学時期】	4月(4月入学に欠員がある場合に限り人員を流用して10月入学を募集します)	4月又は10月
【入学定員】	学力検査(外国語：英語)、小論文	学力検査(外国語：英語)、面接
【試験実施時期・会場】	入学試験は桜ヶ丘キャンパスで実施しています。また、入学試験の結果、第1次募集で募集人員に満たない場合に限り、第2次募集を追加実施します。詳しくは「医歯学総合研究科ホームページ」をご覧ください。	
【進学説明会等】	年3回程度開催しています。開催予定については医歯学総合研究科ホームページをご覧ください。	
最新の入試情報はこちら	https://www2.kufm.kagoshima-u.ac.jp/admission/master-course.html	



あなたを待っています —未来につながる多様な道—

○医歯学総合研究科(修士課程)医科学専攻の目的○

医科学専攻では、医学、歯学及び獣医学以外の学部学科を卒業した学生や一般社会人を対象に受け入れ、医学や歯学に関する知識・技術を多様な分野で応用して活躍できる人材の育成を目的としています。学生はヒトの疾病の予防と治療、環境の保全と社会の発展に応用できる専門的知識と専門家としての基本的な能力を修得し、広い視野と倫理観を有した人材となることをめざします。

専門家への道(臨床医科学)

- 消化器疾患・生活習慣病学.....生活習慣とおなかの病気のサイエンスを学ぶ
- 医療システム情報学.....情報の力を知り、社会貢献できる専門家
- 血液・膠原病内科学.....HTLV-1/ATL 研究を鹿児島から世界へ
- 心身内科学.....環境と心と身体：総合的により良くなるために / 文系の方も
- 歯科医学教育実践学.....根拠に基づく医療者教育実践家の養成
- 予防歯科学.....口腔保健の推進によるQOLの向上
- 歯科矯正学.....口と顔の審美・機能のコーディネーター
- 小児歯科学.....小児歯科の専門性を持った歯科衛生士の養成
- 脳神経内科・老年病学.....難病をサイエンスで解決する
- 脳神経外科学.....脳腫瘍をゲノムから解析する
- 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学.....「話す」「食べる」を科学する
- 整形外科学.....再生医療・癌の遺伝子治療と分子標的治療
- リハビリテーション医学.....オリジナルな評価・治療法を世界に発信!
- 血管代謝病態解析学.....サイエンスとの出会い、喜びと希望、叶える夢、培う豊かな感性と心臓器をつなぐ「生命の源=循環」をサイエンスする
- 心臓血管・高血圧内科学.....呼吸器難病の克服に向けて
- 呼吸器内科学.....新たな視点から臓器障害メカニズムを探る
- 救急・集中治療医学.....歯科補綴物の製作や装着に役立つ接着技術の開発
- 咬合機能補綴学.....バイオリジカルな口腔機能の再建
- 口腔顎顔面補綴学.....接着歯学と修復材料から歯の保存を追求する
- 歯科保存学.....口腔機能から全身の健康を科学し、疾患予防につなげる
- 顎顔面疾患制御学.....先端画像で拓く診断と治療
- 放射線診断治療学.....放射線・乳腺甲状腺癌のトランスレーショナル・リサーチ
- 消化器・乳腺甲状腺外科学.....がん診断・治療の最適化を追求する
- 総合がん診療医学.....診療・医療での疑問を研究で解明する
- 総合診療医学.....

研究者への道(基礎医科学)

- 衛生学・健康増進医学.....働く人の健康を科学する：栄養学と脳科学の視点から
- 疫学・予防医学.....多様な視点を持つ疫学研究で豊かな社会を目指す
- 法医学.....法医病理組織学・分子生物学の基礎研究
- 微生物学.....細菌の多様性を通じて感染症を学ぶ
- 免疫学.....免疫系の仕組みを解き明かし、疾患を理解する
- 神経免疫学.....HTLV-1 感染と神経疾患 HAM を共に探究しよう!
- HTLV-1/ATL病態制御学.....データサイエンスを駆使して難病の治療薬を開発する
- 抗ウイルス療法研究.....各種のウイルス感染症に対する治療開発を自分の手で
- ウイルス情報テクノロジー研究.....分子生物学的手法でウイルス感染症を研究する
- トランスレーショナルメディスン.....薬はどのように創られる?
- 医化学.....シグナル伝達の異常から疾患にアプローチする
- 口腔生化学.....免疫応答シグナルと骨代謝制御機構の基礎医学的研究
- 口腔微生物学.....口腔微生物の環境応答を明らかにする
- 地域医療学.....医療に関係する地域の課題を研究する
- 形態科学.....顕微鏡をのぞいてみませんか?
- 神経筋生理学.....最先端技術で解き明かす脳・神経回路の発達メカニズム
- 歯科機能形態学.....神経回路もしくは発生の基礎研究
- 解剖法歯学.....臨床に役立つ肉眼解剖学をご遺体から学ぶ
- 遺伝子治療・再生医学.....革新的治療法の開発・実用化への挑戦～がんや難病への遺伝子治療と再生医療の研究～
- 統合分子生理学.....ストレス緩和、アロマセラピー、食欲と情動の脳科学
- 生化学・分子生物学.....記憶の分子・細胞メカニズムを明らかにする
- 生体情報薬理学.....生体情報システムを操れる創薬研究エキスパートの養成
- 薬物動態制御学.....薬物治療情報管理の専門家—個別化医療への道—
- 歯科応用薬理学.....薬物の作用機序と生体機能ネットワークを探る
- 口腔生理学.....「味覚」と「咀嚼」を科学する
- 病理学.....分子から病態を理解する 難治性癌の克服に向けて～早期診断法の開発～
- 分子腫瘍学.....分子の視点でがん治療の進歩をめざす
- 顎顔面放射線学.....放射線の細胞への影響に関する研究
- 臓器置換・異種移植外科学.....再生医療・臓器置換先端医療戦略開発を目指す大動物を用いた前臨床研究

修業年限 ... 2年 取得できる学位 ... 修士(医科学)

教育の特色

医科学専攻では、入学する学生のニーズに応じて、以下の3つのコースを設定しています。学生は各コースに適合する内容の授業科目により、医科学研究に対する考え方や高度な専門職に不可欠な知識・理論を修得することができます。また、コース毎の実習科目「バイオサイエンス実習」、「高度メディカル実習」を通じて、先端技術の修得を目指します。

先端バイオサイエンスコース

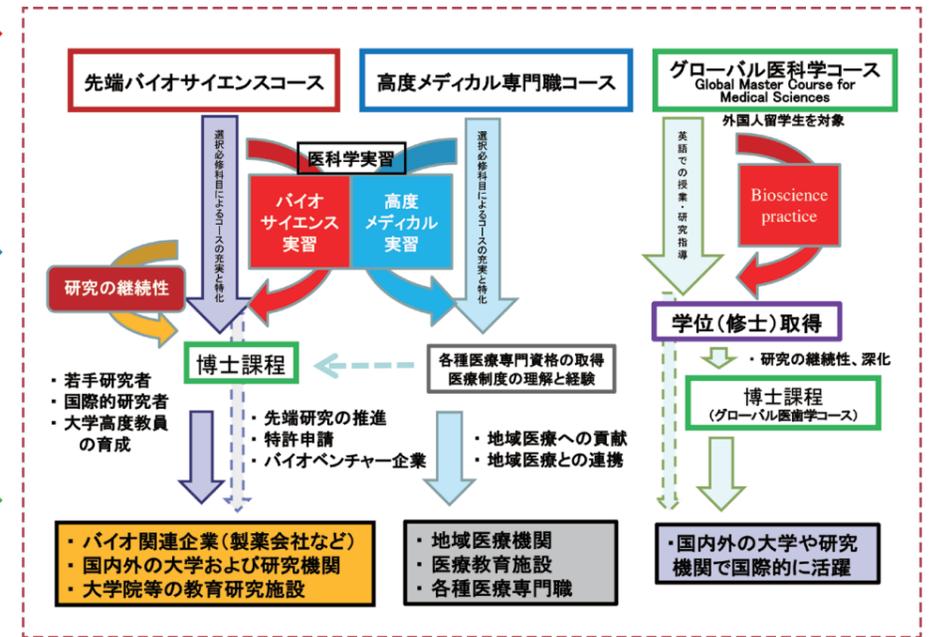
主として、博士課程に進学し、研究者を目指す学生のためのコースで、生命科学全般にわたる考え方・知識の向上及び先端研究技術の修得に重点を置いた教育指導を行います。

高度メディカル専門職コース

主として、医療専門職としての就職あるいは現職場でのスキルアップを目指す学生のためのコースで、医学・医療に直接関連する専門的知識の修得に重点を置き、コース修了後に指導的な立場で活躍できる人材を育成します。

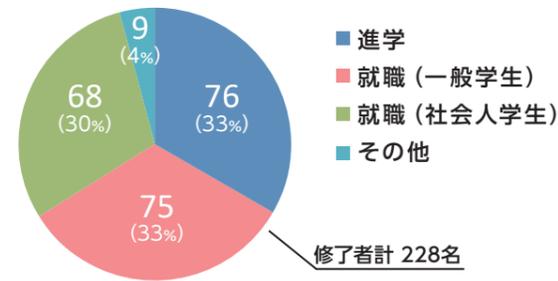
グローバル医科学コース

世界各国からの外国人留学生を対象とし、原則、英語での授業・研究指導により、修士(医科学)の学位が取得できます。



修了者の進路

医科学専攻を修了された方は大学院で培った問題解決能力や専門的知識を生かして、医療機関や教育機関、生命科学系企業を始めとする多様な職種で活躍しています。また、例年、数名の方が研究の継続を希望され、博士課程に進学しています。



一般学生の就職先内訳	修了者数	就職先
病院	24	鹿児島大学病院、鹿児島厚生連病院、その他医療機関
地方公務	6	鹿児島県、鹿児島市
大学	7	鹿児島大学、宮崎大学、鹿児島純心女子大学
医療製薬	11	ネクス・ソリューションズ、マクロン、新日本科学、旭化成ファーマ、化学及血清療法研究所、日新薬品工業、八十島プロシード、KCCS マネジメント
化学	6	コンサルティング、アウトシングテクノロジー、医療生協協同組合、鹿児島県環境保健センター、鹿児島医療技術専門学校、WDBエウレカ、日本新薬株式会社、KM バイオリジクス株式会社
一般	7	
薬局	3	
商社	1	
派遣	3	
計	75	

先輩からのメッセージ

「研究の面白さ」を身をもって感じた修士課程2年間

医歯学総合研究科(修士課程)医科学専攻
松田 恵理子(先端バイオサイエンスコース / 遺伝子治療・再生医学分野)

私は修士課程に入るまで、管理栄養士・糖尿病療養指導士として臨床に従事していました。1型糖尿病患者の血糖管理に携わる中で「1型糖尿病を治したい」との思いが強まったことがきっかけで、医歯学総合研究科 遺伝子治療・再生医学分野の研究を知りました。全く新しい分野に飛び込むことに強い不安がありましたが、実際に様々な分野から挑戦されている研究室の先輩方から直接話を伺い、挑戦してみようと思うことが出来ました。修士課程2年間では、小沢教授をはじめ研究室の先生方や先輩方に丁寧かつ熱心なご指導を頂き、「研究の面白さ」を身をもって感じる事ができました。その後は、研究の面白さを追求するべく博士課程に進学し、現在は、遺伝子治療・再生医療による1型糖尿病の新たな治療戦略を開発するため、研究を続けています。

夢を叶えたいという思いに年齢は関係ありません。ぜひ、医歯学総合研究科で新たな学びに出会い、サイエンスの喜びや希望を体感してほしいです。

視点と思考を養うチャレンジ

医歯学総合研究科(修士課程)医科学専攻
佐渡 芳久(高度メディカル専門職コース / 救急・集中治療医学分野)

私は臨床工学技士としてこれまで約15年間、主に集中治療業務に従事してきました。臨床経験の中で生じた疑問を科学的に可視化したいという思いが募り、そのことを相談した救急・集中治療医学分野の垣花教授の勧めもあり、医歯学総合研究科修士課程への入学を決意しました。社会人の学び直しを推進し、キャリア形成を支援する教育訓練給付金制度を利用することで、経済的負担が軽減されることも入学の後押しとなりました。

入学後は、大学ならではの研究設備や教育体制が充実しており、先生方に丁寧かつ熱心なご指導を頂きました。臨床現場だけでは得られなかった正しい研究の流れと研究者としての視点を習得し、データの意義を活かすまでの力を養うことができました。卒業して臨床現場へ戻った今、自分の研究だけでなく、同僚の研究に関しても助言できる多角的な視点を得たことは、組織の推進力につながり、学位取得以上の価値がありました。

大学院で自分自身の視野を広げ、論理的・倫理的思考を養うチャレンジをしてみませんか。